

大学連携型コミュニティは温暖な場所に限定されずに全米各地に作られ、2010年ではその数70です。よく遊び、よく学ぶ、ということでしょうか。

4. 高齢者コミュニティにおける医療・介護

病気になったり介護が必要になった時に居住者を継続してケアする高齢者コミュニティがあります。CCRC(Continuing Care Retirement Community)と呼ばれ、一つの敷地に①インディペンデント・リビング(健常で自立した人が対象)、②アシスティッド・リビング(軽度介護)、③ナーシングホーム(重度介護)、④メモリーサポート(認知症)が集約されています。居住者は健康状態が悪化しても、安心して同じ敷地で暮らし続けることができます。今回はCCRCを見学しませんでした。高齢者と医療・介護は切り離せない問題なので、機会があれば見学したいと思っています。

5. わが国に高齢者コミュニティは根付くか?

日本初の高齢者コミュニティ「スマートコミュニティ稲毛」が2010年に千葉県に建設されました。アメリカと同じように、元気な高齢者が住居(分譲マンション)を購入して、スポーツ、趣味などを楽しまします。ただ、わが国は、①住居の価値が年月とともに下がる、②住み替えをしない、③治安が良い、④子どもに家や財産を残す、⑤子どもと一緒に暮らす人がいる、⑥老後を明るいものと考えない人が多い、⑦老後に娯楽を多く求めない、等のアメリカとは異なる環境と考え方が異なるため、現状では高齢者

コミュニティは根付きにくいかもしれません。しかし時代は変わりつつあり、老後を積極的に楽しみたい人や、健康状態が悪化した時のことを心配する人が増えています。そのため、居住者を継続してケアする前述のCCRCのような高齢者コミュニティができれば歓迎されるかもしれません。私も住みたいと思います。いずれにしても老後の暮らし方を考える上で、アメリカの高齢者コミュニティの姿は参考になるかもしれません。

謝辞

今回の高齢者コミュニティ見学は猪熊さんご夫妻のご協力によるものです。深謝いたします(写真6)



写真6 スポーツバーで巨大ピザを囲んで
右側：猪熊さんご夫妻
左側：宮本顕二、礼子、武田さん

北海道医師会サポートセンターのご利用について

◇情報広報部◇

北海道医師会サポートセンターでは、本会提供のメールアドレスに関するご相談だけでなく、パソコン操作やインターネット利用に関する質問対応も承っております。日頃のパソコン利用におけるちょっとした疑問点やトラブル対応の第一相談窓口として、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ例

パソコンをMacに変えたら使い方がよくわからない・・・ご利用方法をご案内
プロジェクターでパソコンの映像を映したい・・・ご利用方法をご案内
光電話ってどうしたら使えるの・・・光電話についてご案内、取次ぎも可能
エクセルの使い方がよくわからない・・・一般的な使い方であればご案内可能
サポートに来てほしい・・・駆けつけ業者を手配します(有料となります)

お問い合わせ先：北海道医師会サポートセンター(平日 10:00～12:00、13:00～17:00)

○TEL: 011-738-3401

○E-mail: support@hokkaido.med.or.jp